

令和2年度第1回

龍ヶ崎市歴史民俗資料館 運営審議会資料

龍ヶ崎市教育委員会文化・生涯学習課

(龍ヶ崎市歴史民俗資料館)

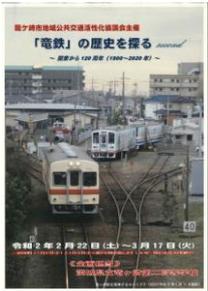
目次

- 1 令和元年度龍ヶ崎市歴史民資料館事業報告書…………… p1
- 2 令和2年度龍ヶ崎市歴史民資料館事業経過報告書…………… p9
- 3 令和3年度龍ヶ崎市歴史民資料館事業計画書（案）…………… p16
- 4 中期事業計画の進捗状況表…………… p21
- 5 龍ヶ崎市歴史民俗資料館入館者数…………… p22
（平成28年度～令和2年度）

1 令和元年度龍ヶ崎市歴史民俗資料館事業報告書

(1) 常設展示及び企画展・収蔵品展の開催

1 常設展示			
展示期間	平成31年4月2日(火)～令和2年3月8日(日) (1) 新型コロナウイルス感染症拡大対策による臨時休館 3月10日(火)～31日(火) (2) 館内くん蒸による臨時休館 9月23日(月・祝)～28日(土)		
日数	280日	入館者数	23,630人
展示場所	常設展示室, エントランス, 屋外		
展示テーマ	龍ヶ崎の歴史と民俗		
内容	<p>時系列的に龍ヶ崎の歴史を展示したものと人々のくらしとして民具, 調度品のほか年中行事等について展示。</p> <p>エントランスホールには, 国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」の4分の1模型と視聴覚資料「龍ヶ崎の水と歴史」等を展示上映。</p> <p>屋外では, 市指定文化財の4号機関車をはじめ, 納屋を模した建築物に田舟や水稻栽培に用いた農具, 商店を模した建物にたばこや駄菓子ケース等を展示。</p> <p>【※入館者の状況は、別紙1のとおり】</p>		
			
撞舞の模型			
2 ボランティア作品展「布れあい染織展」 (共催：資料館ボランティア)			
開催期間	4月19日(金)～5月6日(月)		
日数	16日	入館者数	1,149人
開催場所	企画展示室		
内容	体験学習等で協働しているボランティアの染色と機織りの活動成果を発表する場として作品を展示。		
3 絹本著色十六羅漢像公開展(第二幕)			
開催期間	5月11日(土)～5月26日(日)		
日数	14日	入館者数	866人
開催場所	企画展示室		
内容	前年度に公開した若柴町金龍寺の国指定重要文化財「絹本著色十六羅漢像」の精巧なレプリカ(複製)の4幅に続き, 新たに製作した4幅を合わせ, 計8幅を展示公開した。		
			
公開展ポスター			
4 ポスター展 ヒロシマを知ろう!!「—8月6日、きのこ雲の下で—」(共催：法制総務課)			
開催期間	6月29日(土)～7月15日(月)		
日数	15日	入館者数	872人
開催場所	企画展示室		
内容	戦争の悲惨さを次世代に伝え, 平和に対する意識の高揚を目的に実施。被爆状況の写真等のほか, 折鶴の製作コーナーを設け, 広島への中学生派遣事業の際に持参した。		

5 鈴木草牛素描画展				 <p>展示風景</p>
開催期間	8月1日(木)～9月22日(日)			
日数	46日	入館者数	4,770人	
開催場所	企画展示室			
内容	昭和初期ごろの農作業の様子や牛久沼の風景等が描かれた民俗学的にも貴重なデッサン画約40点と合わせて関連する民具や写真を展示した。			
6 郷土作家展「北澤廣城」展(市民芸術フェスティバル事業)				
開催期間	11月2日(土)～11月17日(日)			
日数	14日	入館者数	1,691人	
開催場所	企画展示室, 多目的室, 体験学習室			
内容	茨城一水会に所属し, 一水会展覧会ほか茨城県芸術祭で各賞を受賞している北澤廣城先生の油彩やテンペラ, 版画等の40点の作品を展示した。			
7 昔の道具展「暖房具を中心に」				
開催期間	1月15日(土)～2月20日(日)			
日数	32日	入館者数	4,176人	
開催場所	企画展示室			
内容	小学校3年生の社会科『古い道具と昔の暮らし』の見学に合わせて, 学習支援となる火鉢や行火等の電化する以前の暖房具やねんねこ半纏等の防寒着を展示。			
8 「竜鉄」の歴史を探究 (共催: 龍ヶ崎市地域公共交通活性化協議会)				 <p>展示ポスター</p>
開催期間	2月22日(土)～2月24日(月)			
日数	3日	入館者数	371人	
開催場所	企画展示室			
内容	龍ヶ崎二高生が企画担当した関東鉄道龍ヶ崎線の歴史についてのパネルを展示。 3月17日までの会期であったが新型コロナウイルス感染防止のため3日間で閉会となった。			

(2) 普及事業の実施

1 古文書講座 ①上級コース「近世古文書を読む」 ②初級コース「初めての古文書」	
開催回数	① 上級コース10回, ② 初級コース8回
開催場所	多目的室
受講者数	① 延べ208名, ②延べ186名, 合計394名
講師	① 盛本昌広さん ②龍ヶ崎市古文書同好会員
内容	寄贈・寄託の近世史料をテキストに用い, くずし文字の解読方法を指導, 歴史用語や時代背景を解説。①は全12回, ②は全9回の予定であったが, 10月は台風の影響で, 3月には新型コロナウイルス感染防止対策のため中止した。
2 博物館見学会	
開催日	① 10月18日(金) ②11月22日(金)
見学場所	千葉県香取市 伊能忠敬記念館と水郷佐原山車会館
参加者数	① 23名 ②28名 合計51名

内 容	資料館活動への更なる理解を深める目的で、上記の場所と伝統的建造物群保存地区を見学した。	
3 れきみんシアター		
開催日時	毎週土曜日（11月と3月を除く）	
開催場所	多目的室	
参加者数	延べ 162名	
内 容	幼児、小学生とその親子を対象に、「まんが日本昔話」を上映し、アニメを通して昔話を伝え、楽しんでいただいた。3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止した。	
4 れきみん祭り		
開催日時	8月10日（土）	
開催場所	館内及び屋外	
内 容	水車や水鉄砲等の昔の道具体験や資料館で行っている体験学習教室等一堂に集め、夏休みのひと時を資料館で楽しんでもらう目的で開催。入館者数は、1,188名 ① 「簡単藍染め体験」、② 「機織り体験」 ③ 「綿織り体験」、④ 「竹細工教室」、 ⑤ 「昔の遊び体験」、⑥ 「昔の道具体験」、 ⑦ 「駄菓子屋」、⑧ 「かき氷販売」、 ⑨ 「昔のオルガン演奏」他	
道具体験の様子		
5 駄菓子屋		
開催日時	① 8月10日（土）、②10月20日（日）	
開催場所	屋外展示場	
内 容	子どもや親子連れ向けのイベントとして、資料館ボランティアの協力で8月のれきみん祭り、10月のふれあい広場で開催。昭和レトロな懐かしい雰囲気と縁日的な楽しさを提供した。	
6 撞舞コスプレ体験		
開催日時	① 7月21日（日）、②7月24日（水）	
開催場所	エントランスホール	
参加者数	① 13名 ②11名 合計24名	
内 容	子どもサイズ（100／120／140cm）の舞男衣装を着て、撞舞展示コーナー前で写真撮影をしながら、舞男の気分を楽しんでいた。	
撮影風景		

(3) 体験学習教室の実施

1 わら草履作り教室		
開催日	① 7月27日（土）②8月4日（日）	
開催場所	体験学習室、屋外	
参加者数	① 5名 ②10名 合計15名	
講 師	職員、資料館ボランティア	
内 容	稲作の副産物で、現在は触れることが少なくなった藁を用い、技術の伝承と先人の知恵を学ぶ。	
出来上がった藁草履		

2 注連飾り作り教室	
開催日	① 12月15日(日) ②12月18日(水)
開催場所	体験学習室, 屋外
参加者数	① 10名 ②10名 合計20名
講師	職員, 資料館ボランティア
内容	正月準備として作られる注連飾りの由来を学び, 製作技術を伝承した。
3 藍の絞り染め教室	
開催日	① 10月25日(金) ②10月27日(日)
開催場所	体験学習室, 屋外
参加者数	① 11名 ②9名 合計20名
講師	職員, 資料館ボランティア
内容	ハンカチとストールを素材に, 日本の伝統的な藍染めの技法を用いて模様を付ける。
4 機織り伝承教室	
開催日	毎週火曜・木曜日(3月を除く通年)
開催場所	体験学習室, エントランスホール
講師	資料館ボランティア
対象者	資料館ボランティアの希望者
内容	高機の保存と併せて機織りの技術を習得し, その技術を永く伝承することを目的とする。また, 館内で実演を行った。
5 機織り教室	
開催日	3月12日(木)～3月26日(木) 8回 [中止]
開催場所	体験学習室, エントランスホール
講師	資料館ボランティア
内容	高機でランチョンマットを織り, 龍ヶ崎木綿への理解を図る。
5 簡単機織り教室	
開催日	8月10日(土)
開催場所	エントランスホール
参加者数	29名
講師	職員, 資料館ボランティア
内容	不要になった布を素材に新たな織物を作る「裂き織」を体験し, 先人のリサイクル技術を学ぶ。
6 折り紙教室	
開催日	①6月26日(水), ②10月25日(金), ③2月21日(金)
開催場所	多目的室
参加者数	① 12名 ②12名 ③12名 合計36名
講師	木村峰子さん
内容	季節や年中行事等に合わせて①着物, ②雅鶴, ③お雛様の装飾性のある作品を折り, 折り紙の魅力を伝えた。
	
雅鶴	
7 竹細工教室	
開催日	8月10日(土)
開催場所	体験学習室
参加者数	10名
講師	金本典久さん

内 容	竹とんぼや竹鉄砲、笛等、竹を用いた玩具を親子で協力して作り、昔の遊びを伝承した。
8 江戸型彫り教室	
開 催 日	11月24日(日)
開催場所	体験学習室
参加者数	15名
講 師	結城春雄さん
内 容	手拭や浴衣を染める型紙(型彫り)の技術を応用して年賀状の文字や絵型を彫り、江戸文化の一端を学ぶ。
9 龍ヶ崎とんび凧作り教室	
開 催 日	12月1日(日)
開催場所	体験学習室
参加者数	9名
講 師	龍ヶ崎とんび凧研究会
内 容	市民遺産に認定された「龍ヶ崎とんび凧」を作り、凧揚げ大会への参加をとおして、失われつつある凧揚げの楽しさを伝承した。
10 貝殻で作るおひな様教室	
開 催 日	2月16日(日)
開催場所	体験学習室
参加者数	12名
講 師	本橋京子さん
内 容	ハマグリの貝殻に布を貼り、可愛いおひな様を製作した。民芸品のような仕上がりが好評を博した。
	
貝殻のお雛様	
11 お手玉作り教室	
開 催 日	2月23日(日)
開催場所	体験学習室
参加者数	8名
講 師	資料館ボランティア
内 容	資料館で栽培した数珠玉を用いてお手玉を作り、お手玉遊び・数え唄等を伝承し、昔の遊びに触れる。
12 てん刻入門教室	
開 催 日	3月13日(水)・14日(木) [中止]
開催場所	体験学習室
参加者数	—
講 師	平本 実さん
内 容	2日間の継続コースで、マジック転写法を用いて反転した文字を青田石に写し、オリジナルの印章を刻む初心者向けの教室。

(4) 文化活動の推進及び支援

<p>1 常陽小学生新聞『昔の道具とくらし』に寄稿 ※【県南版】土浦・牛久・つくば・取手・龍ヶ崎・ 守谷・つくばみらい 各市の公立小学校全児童に配布 【水戸版】水戸市の公立小学校全児童に配布</p>		 <p>2020年1月号</p>
内 容	当館が所蔵する昔の道具の写真と解説文を毎月寄稿し、子どもたちに歴史への関心を促すとともに、館のPRを図った。	
タイトル	①鯨尺, ②文机, ③柱時計, ④木挽鋸, ⑤団扇, ⑥噴霧器, ⑦振打, ⑧つり下げ手洗い器, ⑨背負い籠, ⑩片口, ⑪蒸籠	
2 資料閲覧及びレファレンス		
期 間	通年	
場 所	図書研究室, 事務室	
利用資料	<p>【閲覧資料】 昭和60年3月発行広報竜ヶ崎, 長峰古墳出土鉄剣</p> <p>【貸出資料】 東京五輪茨城県聖火リレートーチ, ユニホーム, 走者委嘱状, 記念皿, 記念章, 竹内農場写真</p> <p>【特別利用資料】 佐貫駅写真(昭和55年頃), 白井喬二全集パンフレット 山崎家文書, 牛になった小坊主画像データ</p>	
3 展示及び郷土史解説		
場 所	展示室	
対 象 者	希望団体	
内 容	<p>教育機関及び市民グループの依頼による展示解説を行った。</p> <p>【展示解説】 我孫子市歴史会, 水戸文学散歩の会, 船橋市歴史散策会, 千葉科学大学, 愛国学園龍ヶ崎高</p>	
4 小学校見学学習支援		
期 間	1月15日(水)～2月27日(木)	
場 所	展示室, 多目的室, エントランスホール	
対 象 者	市内, 近隣の小学校3年生	
参加校	<p>龍ヶ崎市内10校 牛久市立小(牛久, 向台, 中根, 奥野) 阿見町立小 (阿見第二, あさひ, 本郷, 君原) 取手市立戸頭小 河内町立かわち学園 計20校 1, 363名</p>	
内 容	<p>小学校3年生の社会科『古い道具と昔のくらし』の学習内容に合わせ、昔の道具の展示解説, ビデオ視聴, ボランティアの協力による綿繰等の道具体験する機会を提供し、歴史への興味と理解を促した。市内小学校は、見学日の調整と合わせて市バスの手配を行っている。</p>	



道具解説風景

5 学芸員実習生の受入	
期 間	8月3日(土)～8月9日(金)
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住, 出身者及び近隣市町村在住者
内 容	各大学の依頼を受け, 次世代の学芸員を養成する目的で実習生の指導を行った。 【受入れ実習生数】2名(東洋大学, 大正大学)
6 職場体験の受入	
期 間	① 1月15日～17日, ②1月23・24日
受入れ校	① 竜ヶ崎南高校(3名), ②城ノ内中学校(3名)
内 容	上記の高校と中学校の依頼を受け, 将来の職業観を育成する目的で資料館の業務への理解を図り展示体験等を指導した。
7 ボランティア活動の推進及び支援	
期 間	通年
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住, 出身者及び近隣市町村在住者
内 容	資料館や関連事業を市民や来館者に, より身近な生涯学習の場として, 親しむことができる人材を育成し, ボランティアが参画する事業を推進した。 【育成及び協働団体】 資料館ボランティア, 龍ヶ崎市古文書同好会

(5) 資料収集整理保存

1 資料の収集	
内 容	<p>資料館の設立目的に沿った郷土史料・民俗資料の収集を行う。あわせて, 郷土史関係図書の充実を図るため自治体史, 博物館発行図書の収集を行った。</p> <p>【収集資料】()内は寄贈者氏名</p> <p>○紙芝居 24本(駒柴小学校), 手動計算機 1台(鈴木繁雄), ○原付自転車ホンダモンキー 1台, 大鋸1丁(小菅章雄) ○駒柴村消防組半纏外 16点(山崎務) ○綿繰機 1台(早瀬貴美子) ○吊りランプ 1点(石神暢) ○雲龍図柄の奉納幟外 7点(豊田町下坪女性会) ○常磐線佐貫駅名改称に係る資料 1式(市企画課)</p> <p>【寄贈図書】(発行機関名)</p> <p>[茨城県] 茨城県, 茨城県教育財団, 茨城県立歴史館, 茨城県近代美術館, 土浦市立博物館, 古河市歴史博物館, 神栖市歴史民俗資料館, 稲敷市立歴史民俗資料館, 取手市埋蔵文化財センター, 牛久市教育委員会, かすみがうら市歴史博物館, 小美玉市史料館, 常陽藝文センター</p> <p>[千葉県] 国立歴史民俗博物館, 千葉県立郷土博物館, 千葉県文書館, 松戸市立博物館, 鎌ヶ谷市教育委員会, 佐倉市教育委員会, 野田市教育委員会, 関宿城博物館, 印西市教育委員会, 流山市立博物館</p> <p>[埼玉県] 埼玉県歴史と民俗の博物館, 埼玉県立川の博物館, 戸田市立郷土博物館</p> <p>[東京都] 東京都江戸東京博物館, 港区教育委員会, 杉並区立郷土博物館, 港区立港郷土資料館, 昭和館, 品川歴史館, 東京家政学院, 板橋区郷土資料館</p> <p>[神奈川県] 横浜市歴史博物館, 平塚市博物館, 寒川町史編纂委員会, 大磯町郷土資料館</p>

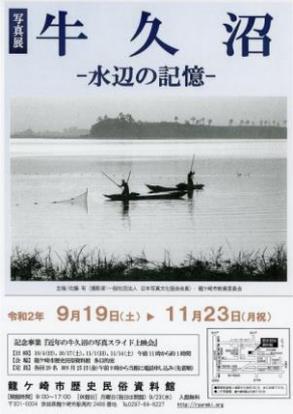
	〔その他〕 群馬県立歴史館，岩宿博物館，仙台市博物館，仙台市史編纂委員会，熊本県教育庁
2 資料の整理・保存	
内 容	市内旧家等から寄贈・寄託及び借用している古文書等の資料の整理分類を行い，郷土史の調査研究に活用するため目録作成を継続した。 また，収蔵資料及び展示資料の虫害，菌害を防止するため，9/23～9/28に燻蒸業務を実施した。
3 市内の祭礼や年中行事の調査	
内 容	『龍ヶ崎市史 民俗編』（平成5年刊行）に掲載されている祭礼や年中行事を中心に37件の聞き取り・確認調査を行った。うち「馴馬町山中坪のオピシャ」と「貝原塚町のオピシャ」は現地調査を行い報告書を作成した。 なお，民俗編に掲載の祭礼や年中行事は，平成23・24年に14件の調査が行われ報告書を刊行している。 これ以降の平成30年までに16件の祭礼や年中行事の調査確認が行われている。 令和元年度の37件と合わせて合計67件の祭礼や年中行事の調査確認を行った。

2 令和2年度龍ヶ崎市歴史民俗資料館事業経過報告書

令和3年2月7日現在

(1) 常設展示及び企画展・収蔵品展の開催

1 常設展示			
展示期間	令和2年5月28日(木)～令和3年1月17日(日) (1) 新型コロナウイルス感染症拡大対策による臨時休館 ① 4月1日(水)～5月27日(水) ② 1月19日(火)～2月7日(日)		
日 数	195日	入館者数	9,216人
展示場所	常設展示室, エントランス, 屋外		
展示テーマ	龍ヶ崎の歴史と民俗		
内 容	時系列的に龍ヶ崎の歴史を展示したものと人々のくらしとして民具, 調度品のほか年中行事等について展示。 エントランスホールには, 国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」の4分の1模型と視聴覚資料「龍ヶ崎の水と歴史」等を展示上映。 屋外では, 市指定文化財の4号機関車をはじめ, 納屋を模した建築に田舟や水稻栽培に用いた農具, 商店を模した建物にたばこや駄菓子ケース等を展示。 【※ 入館の状況は, 別紙1のとおり】		
2 ボランティア作品展「布れあい染織展」 (共催: 資料館ボランティア)			
開催期間	4月 [中止]		
開催場所	企画展示室		
内 容	体験学習などで協働しているボランティアの染色と機織りの活動成果を発表する場として作品を展示。		
3 絹本著色十六羅漢像公開展 (第三幕)			
開催期間	5月 [中止]		
開催場所	企画展示室		
内 容	国指定重要文化財「絹本著色十六羅漢像」の精巧なレプリカ(複製)を前回までの8幅に加え, 新たに再作した4幅を第三幕として計12幅公開展示。		
4 収蔵絵画コレクション展			
開催期間	5月28日(木)～6月28日(日)		
日 数	30日	入館者数	953人
開催場所	企画展示室		
内 容	鈴木草牛, 山崎茂一郎, 岩崎巴人など郷土作家の収蔵品と明治期の歌舞伎役者や力士の錦絵などの13作品を展示紹介した。	 <p style="text-align: center;">展示風景</p>	
5 次世代と描く「原爆の絵」展 高校生と被爆体験者による共同制作			
開催期間	7月4日(土)～8月2日(日)		
日 数	26日	入館者数	1,167人
開催場所	企画展示室		
内 容	戦争の悲惨さを次世代に伝え, 平和に対する意識の高揚を目的で広島平和記念資料館から借用した複製画を展示した。法制総務課と実施。		

6 写真展「子どもの情景」			
開催期間	8月9日(土)～9月6日(日)		
日数	25日	入館者数	1,176人
開催場所	企画展示室		
内容	写真家佐藤有さんが、昭和30年代に撮影した子どもたちの遊びの写真を展示。		
7 写真展「牛久沼 水辺の記憶」			
開催期間	9月19日(土)～11月23日(月)		
日数	55日	入館者数	3,397人
開催場所	企画展示室 多目的室		
内容	<p>写真家佐藤有さんが昭和30年代から撮りため、現在見ることができない浮田や巻き網漁の生業など、人々の記憶に残る沼の風景を蘇らせるモノクロ写真120点をパネル展示した。</p> <p>期間中には、展示のモノクロ写真と対比する近年撮影のカラー写真をスライド上映し、佐藤さん自身が解説するスライド上映会を4回開催。撮影者ならではの花の咲く時期など、現在の沼の魅力を紹介していただき、延べ76名が参加視聴した。</p>		
 <p>展示ポスター</p>			
8 れきみんコレクション			
開催期間	①1月5日(火)～17日(日) ②2月9日(日)～28日(日)		
日数	12日	入館者数	538人
開催場所	企画展示室		
内容	<p>小学校3年生の社会科『古い道具と昔の暮らし』の見学に合わせて、2月末まで学習支援となる大正～昭和初期の衣服や着物、蓄音機や流行歌のレコード、双六などの資料を展示。</p>		
 <p>学生服や教科書の展示</p>			
9 龍ヶ崎市駅誕生1周年・龍ヶ崎線開業120周年記念展			
開催期間	3月7日(日)～3月28日(日)		
日数	一日	入館者数	一人
開催場所	企画展示室		
内容	佐貫駅名改称の際にJRから譲り受けた旧駅名標や、記念切符、関東鉄道龍ヶ崎線の記念グッズなどを合わせて展示する。また、来場者には記念の龍印を配布する。		

(2) 普及事業の実施

1 古文書講座 ①上級コース「近世古文書を読む」 ②初級コース「初めての古文書」			
開催回数	② 上級コース(6回), ② 初級コース(9回)		
開催場所	多目的室		
受講希望者数	①25名, ②21名		
講師	①盛本昌広さん ②龍ヶ崎市古文書同好会員		
内容	<p>対面方式の講座は中止。</p> <p>受講希望者には9月から両コース共通のテキスト資料として、天保2年(1831)の横町伊勢屋「諸御用留帳」を配布し、約30名が自宅学習の形態で古文書を読み進めている。</p>		
 <p>「諸御用留帳」</p>			

2 歴史散歩	
開催日	①11月6日(金), ②11月15日(日), ③12月5日(土)
参加者	②18名, ②20名, ③25名
内容	郷土を再発見する目的で, 市内の旧所名跡沿いにコースを設定し, 周辺の遺跡, 寺社等を見学しながら歴史的背景を解説した。 ①は久保台小学校区わくわく協議会と共催し, 馴馬から関鉄竜ヶ崎方面を散策した。 ②は馴馬台地域ひなっこ協議会と共催し, 龍ヶ崎陣屋跡から八坂神社方面を散策した。 ③はNPO龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会などと共催し, 小野瀬邸から大統寺方面を散策した。
3 博物館見学会	
開催日	10月, 11月(各1回) [中止]
内容	資料館活動への更なる理解を深める目的で, 近隣の博物館や類似施設や文化財を見学する。
4 れきみんシアター	
開催日	毎週土曜日 [中止]
開催場所	多目的室
内容	幼児, 小学生とその親子を対象に, 「まんが日本昔話」を上映し, アニメを通して昔話を伝える事業。
5 れきみん祭り	
開催日	8月(1回) [中止]
開催場所	館内及び屋外施設
内容	夏ならではの水車や水鉄砲など, 昔の道具を体験する機会を提供。あわせて, 資料館ボランティアの協力を得て, 染色や機織りなどの複数の体験教室を実施し, 夏休みに資料館を楽しんでいただき, 資料館の事業への理解を深めていただく。
6 駄菓子屋	
開催日	8月, 10月(各1回) [中止]
開催場所	屋外展示場
内容	子どもや親子連れ向けのイベントとして, 屋外の店を利用した昭和レトロな懐かしい雰囲気と縁日的な楽しさを提供する事業。
7 撞舞コスプレ体験	
開催日	7月(2回) [中止]
開催場所	エントランスホール
内容	子どもサイズ(100/120/140cm)の舞男衣装を着て, 撞舞展示コーナー前で写真撮影をしながら, 舞男の気分を楽しむ事業。

(3) 体験学習教室の実施

1 わら草履作り教室	
開催日	7月～8月(2回) [中止]
開催場所	体験学習室, 屋外
講師	職員, 資料館ボランティア
内容	稲作の副産物で, 現在は触れることが少なくなった藁を用い, 技術の伝承と先人の知恵を学ぶ。
2 注連飾り作り教室	
開催日	12月(2回) [中止]

開催場所	体験学習室, 屋外
講師	職員, 資料館ボランティア
内容	正月準備として作られる注連飾りの由来を学び, 製作技術を伝承する。
3 草木染め教室	
開催日	5月, 9月 (計4回) [中止]
開催場所	体験学習室, 屋外
講師	職員, 資料館ボランティア
内容	ハンカチとストールを素材に, 春は桜の枝葉で, 秋は藍やススキなどを用いて日本の伝統的な染めの技法を伝承する。
4 機織り伝承教室	
開催日	毎週火曜・木曜日 (7月より実施)
開催場所	体験学習室, エントランスホール
講師	資料館ボランティア
対象者	資料館ボランティアの希望者
内容	高機の保存と併せて機織りの技術を習得し, その技術を永く伝承することを目的とする。また, 館内で実演を行った。
5 機織り教室	
開催日	3月 (8回) [中止]
開催場所	体験学習室, エントランスホール
講師	資料館ボランティア
内容	はた織り機でランチョンマットを織る。
6 簡単機織り教室	
開催日	8月 (1回) [中止]
開催場所	エントランスホール
講師	職員, 資料館ボランティア
内容	不要になった布を素材に新たな織物を作る「裂き織」を体験し, 先人のリサイクル技術を学ぶ。
7 折り紙教室	
開催日	6月, 10月, 2月 (計3回) [中止]
開催場所	体験学習室, 多目的室
講師	木村峰子さん
内容	季節に合わせて干支や年中行事などをテーマに, 装飾性のある作品を折り, 折り紙の魅力を伝える。
8 お手玉作り教室	
開催日	2月 (1回) [中止]
開催場所	体験学習室
講師	資料館ボランティア
内容	資料館で栽培した数珠玉を用いてお手玉を作り, お手玉遊び・数え唄等を伝承し, 昔の遊びに触れる。
9 竹細工教室	
開催日	8月 (1回) [中止]
開催場所	体験学習室
講師	金本典久さん
内容	竹とんぼや竹鉄砲, 笛など, 竹を用いた玩具を親子で協力して作り, 昔の遊びを伝承する。
10 龍ヶ崎とんぼ凧作り教室	

開催日	12月(1回) [中止]
開催場所	体験学習室
講師	龍ヶ崎とんび凧研究会
内容	市民遺産に認定された「龍ヶ崎とんび凧」を作り、凧揚げ大会への参加をとおして、失われつつある凧揚げの楽しさを伝承する。

(4) 文化活動の推進及び支援

1 『常陽小学生新聞』「昔の道具とくらし」に寄稿 ※【県南版】土浦・牛久・つくば・取手・龍ヶ崎・守谷・つくばみらい 各市の公立小学校全児童に配布 【水戸版】水戸市の公立小学校全児童に配布	
内容	当館が所蔵する昔の道具の写真と解説文を7月号から寄稿し、子どもたちに歴史への関心を促すとともに、館のPRを図った。
タイトル	①がりがりおろし, ②陶枕, ③ウナギカキ, ④タル, ⑤ビンダル, ⑥メンコ, ⑦蓄音機, ⑧十能と火箸, ⑨魔法瓶
	
2 『りゅうほー』「龍ヶ崎歴史よもやま話」に寄稿	
内容	龍ヶ崎の歴史への関心を広く市民に寄与する目的で、市広報誌『りゅうほー』10月後半号から全5回の寄稿文を掲載した。 その他、7月前半号に「土岐公と龍ヶ崎の関係」を寄稿。
タイトル	①常陸土岐氏の支配領域を広めた土岐治英ってどんな人 ②土岐治英と朝倉氏の意外な関係 ③龍ヶ崎村の村役人の娘から仙台藩の側室へ ④龍ヶ崎を訪れた伊達宗房と吉村 ⑤歌舞伎役者と龍ヶ崎の関係
	
3 資料閲覧及びレファレンス	
期間	通年
場所	図書研究室, 事務室
利用資料	【閲覧資料】 竹内農場庭園図 【貸出資料】 DVD: 8ミリフィルム映像, 昭和10年龍ヶ崎を映した幻の映像, 龍ヶ崎の水と歴史, 撞舞 昭和56年小貝川決壊茨城新聞号外, 写真パネル 【特別利用資料】 台秤写真, 錦絵「常州女化狐子別之場」, 八坂神社桔梗紋幕画像

4 小学校見学学習支援	
期 間	1月19日(火)～2月26日(金)(中止)
場 所	展示室, 多目的室, エントランスホール
対 象 者	市内, 近隣の小学校3年生
参 加 希 望 校	<市内> 龍ヶ崎, 大宮, 八原, 馴柴, 川原代, 馴馬台, 久保台, 松葉, 長山小学校 <市外> 阿見第二, 君原, 牛久第二小学校
内 容	小学校3年生の社会科『古い道具と昔の暮らし』の学習内容に合わせ, 昔の道具の展示解説, ビデオ視聴, ボランティアの協力による綿繰などを実演。市内外12校の来館予定であったが, 新型コロナウイルス感染症防止対策のため臨時休館の為に中止した。
5 学芸員実習生の受入	
期 間	①8月22日(土)～8月29日(土) ②12月15日(火)～12月20日(日)
場 所	歴史民俗資料館
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住, 出身者及び近隣市町村在住者
内 容	各大学の依頼があり, 次世代の学芸員を養成する目的で実習生の指導を行った。 【受入れ実習生数】①3名(茨城大学, 筑波大学, 大正大学) ②1名(八洲学園大学)
6 ボランティア活動の推進及び支援	
期 間	通年
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住, 出身者及び近隣市町村在住者
内 容	資料館や関連事業を市民や来館者に, より身近な生涯学習の場として, 親しむことができる人材を育成し, ボランティアが参画する事業を推進した。 【育成及び協働団体】 資料館ボランティア, 龍ヶ崎市古文書同好会

(5) 資料収集整理保存

1 資料の収集	
内 容	資料館の設立目的に沿った郷土史料・民俗資料の収集を行う。あわせて, 郷土史関係図書の充実を図るため自治体史, 博物館発行図書の収集を行った。 【収集資料】()内は寄贈者氏名 ○錦旗外3点(八坂神社), ○がりがりおろし(秋山悦) ○龍ヶ崎尋常高等小学校学芸会アルバム外9点(荻野康雄) ○砂町びっくり市商店街写真55枚(医王院) ○阿弥陀如来立像(山本顕樹), ○銅壺・扇風機(中島美佐保) ○鏡台(川北幸雄) 【寄贈図書】(発行機関名) (茨城県) 茨城県, 茨城県教育財団, 茨城県立歴史館, 茨城県近代美術館, 土浦市立博物館, 古河市歴史博物館, 神栖市歴史民俗資料館, 稲敷市立歴史民俗資料館, 牛久市教育委員会, かすみがうら市歴史博物館, 小美玉市史料館, 筑波大学, 常陽藝文センター外 (千葉県) 国立歴史民俗博物館, 松戸市立博物館, 鎌ヶ谷市教育委員会, 佐倉市教育委員会, 野田市教育委員会, 関宿城博物館外 (埼玉県)

	<p>埼玉県歴史と民俗の博物館，埼玉県立川の博物館，戸田市立郷土博物館，朝霞市立博物館外 (東京都) 東京都江戸東京博物館，港区教育委員会，杉並区立郷土博物館，港区立港郷土資料館，昭和館，板橋区郷土資料館，外 (神奈川県) 横浜市歴史博物館，平塚市博物館外 (その他) 群馬県立歴史館，岩宿博物館，仙台市博物館，仙台市史編纂委員会相馬市教育委員会外</p>
2 資料の整理・保存	
内 容	<p>市内旧家等から寄贈・寄託及び借用している古文書等の資料の整理分類を行い，郷土史の調査研究に活用するため目録作成を継続した。 また，収蔵資料及び展示資料の虫害，菌害を防止する燻蒸業務を行う指標とするため，環境モニタリング調査を次のとおり実施した。5/21，6/19，7/17，8/18に環境測定及びトラップなどを設置，回収後に報告書の提出を受けた。</p>
3 市内の祭礼や年中行事の調査	
内 容	<p>『龍ヶ崎市史 民俗編』（平成5年刊行）に掲載され追跡調査が未了の祭礼や年中行事を抜粋し，57件の事前調査シートを作成した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響と猛暑のため電話での取材調査を試みたがニュアンスが伝わらず中止。コロナ過で祭礼自体も中止となっている祭礼もあり，対面での聞き取り調査が行える市関係者に対象を絞り，7件の聞き取り調査を行った。</p>

3 令和3年度龍ヶ崎市歴史民俗資料館事業計画書（案）

- 以下の計画については、新型コロナウイルス感染症拡大対策を講じたうえで、出来る範囲で事業を実施する予定ですが、同感染症の拡大状況によっては事業を延期・中止する場合があります。

(1) 常設展示及び企画展・収蔵品展の開催

1 常設展示	
展示期間	令和3年4月1日（木）～令和4年3月31日（木）
展示場所	常設展示室，エントランス，屋外
展示テーマ	龍ヶ崎の歴史と民俗
内 容	時系列的に龍ヶ崎の歴史を展示したものと人々のくらしとして民具，調度品のほか年中行事等について展示。 エントランスホールには，国選択・市指定無形民俗文化財「撞舞」の4分の1模型と視聴覚資料「龍ヶ崎の水と歴史」等を展示上映。 屋外では，市指定文化財の4号機関車をはじめ，納屋を模した建築物に田舟や水稻栽培に用いた農具，商店を模した建物にたばこや駄菓子ケース等を展示。
2 ボランティア作品展「布れあい作品展」（共催：資料館ボランティア）	
会 期	4月24日（土）～5月9日（日）
開催場所	企画展示室
内 容	体験学習で協働いただいている資料館ボランティアの染色と機織り活動の発表する場として作品を展示。
3 絹本著色十六羅漢像公開展	
会 期	5月15日（土）～6月6日（日）
開催場所	企画展示室
内 容	金龍寺所蔵の国指定重要文化財「絹本著色十六羅漢像」は，茨城県立歴史館に保管されており，これまで市民が鑑賞する機会はほとんど無かったが，精巧な複製品を平成29年度からの4か年事業で製作した16幅を公開する。
4 非核平和推進事業展（共催：法制総務課）	
会 期	7月3日（土）～7月19日（月・祝）
開催場所	企画展示室
内 容	戦争や被爆体験を次世代に継承して平和意識の高揚を図るため，非核平和推進事業特別展を実施する。
5 発掘遺跡紹介展「仲原遺跡」	
会 期	8月1日（日）～9月26日（日）
開催場所	企画展示室
内 容	つくばの里工業団地拡張事業に係る仲原遺跡（半田町）の発掘調査が平成31年度に行われた。その発掘遺物や遺構を紹介する。
6 郷土作家展「南画 諸岡 佳」作品展（市民芸術フェスティバル事業）	
会 期	10月30日（土）～11月14日（日）
開催場所	企画展示室，多目的室，体験学習室
内 容	（公財）日本南画院の茨城事務所長を務める市内在住の水墨画作家の作品を展示する。
7 収蔵品展「昔の道具とくらし」	
会 期	1月～2月
開催場所	常設展示室，企画展示室
内 容	小学校3年生の社会科見学の時期と内容に合わせ，昔の道具類を展示し学習支援の解説を行う。

(2) 普及事業の実施

1 郷土史講演会 「常陸と下総の境を流れた古鬼怒・小貝の流路を探る（仮）」	
開催日	未定
開催場所	多目的室
募集人数	30名
講師	未定
内容	水害予防に役立てるための「治水地形分類図」から解る昔の水害の跡や国境を流れていたとされる河川についてお話しいたします。
2 古文書講座「近世古文書を読む」（上級コース・初級コース）	
開催回数	上級コース…8回 初級コース…8回
開催場所	多目的室
募集人数	各コース30名
講師	盛本昌広さん、古文書同好会員、 外
内容	寄贈・寄託の近世史料をテキストに用い、くずし文字の解読方法を指導、歴史用語や時代背景を解説する。
3 歴史散歩	
開催日	未定
見学コース	牛久沼・佐貫周辺
募集人数	30名
内容	市民団体と協働して、郷土を再発見する目的で、牛久沼やその周辺沿いにコースを設定し、牛久沼の開発経過とその遺構等を見学、解説する。
4 博物館見学会	
開催日	未定（2回）
見学場所	未定
募集人数	各回30名
内容	近隣の博物館を見学し、博物館や資料館活動への理解を深めていただく。
5 れきみん祭	
開催日	8月
開催場所	歴史民俗資料館
内容	夏ならではの水車や水鉄砲等、昔の道具を体験する機会を提供。あわせて、資料館ボランティアの協力を得て、染色や機織り等の複数の体験教室を実施し、夏休みに資料館を楽しんでいただき、資料館の事業への理解を深めていただく。
6 駄菓子屋	
開催日	8月と10月
開催場所	屋外展示「店」
内容	れきみん祭りとふれ愛広場の開催に合わせて、屋外の店で昭和レトロな懐かしい雰囲気と縁日的な楽しさを提供する事業。
7 れきみんシアター	
開催日	毎週土曜日
開催場所	多目的室
内容	小中学生を対象に、「まんが日本昔ばなし」や「まんが日本史」等を上映し、アニメを通して歴史に対する関心を促進する。
8 8mmフィルムに映る「龍ヶ崎の記憶」上映会	
開催日時	毎月第1土曜日
開催場所	多目的室

内 容	協働事業「映像アーカイブによる街づくり」で市民から集めた8mmフィルムをデジタル化し編集したDVDの上映会を開催。
9 撞舞コスプレ体験	
開 催 日	7月(2回)
開催場所	エントランスホール
内 容	子どもサイズ(100/120/140cm)の舞男衣装を着て、撞舞展示コーナー前で写真撮影をしながら、舞男の気分を楽しむ事業。

(3) 体験学習教室の実施

1 わら草履作り教室	
開 催 日	8月(2回)
開催場所	体験学習室, 屋外
募集人数	各回10名
講 師	職員, 資料館ボランティア
内 容	稲作の副産物で、現在は触れることが少なくなった「わら」を用い、技術の伝承と先人の知恵を学ぶ。
2 注連飾り作り教室	
開 催 日	12月(2回)
開催場所	体験学習室, 屋外
募集人数	各回10名
講 師	職員, 資料館ボランティア
内 容	正月準備として作られる注連飾りの由来を学び、製作技術を伝承する。
3 竹細工教室	
開 催 日	8月
開催場所	体験学習室, 屋外
募集人数	親子5組
講 師	竹細工作り伝承者
内 容	竹を用いた玩具の作り方・遊び方等を伝承し、併せて竹の特性を学ぶ。
4 草木染め教室	
開 催 日	5月, 9月(計4回)
開催場所	体験学習室, 屋外
募集人数	各回12名
講 師	職員, 資料館ボランティア
内 容	ハンカチとストールを素材に、春は桜の枝葉で、秋は藍やススキ等を用いて日本の伝統的な染めの技法を学ぶ。
5 折り紙教室	
開 催 日	6月, 11月, 3月(計3回)
開催場所	多目的室
募集人数	各回12名
講 師	折り紙伝承者
内 容	和紙を使って装飾性のある作品を折り、日本の文化である折り紙の魅力を楽しんでいただく。
6 機織り伝承教室	
開 催 日	毎週火曜・木曜日(通年)
開催場所	体験学習室, エントランスホール

講 師	資料館ボランティア
対 象 者	資料館ボランティアの希望者
内 容	高機の保存と併せて機織りの技術を習得し、その技術を永く伝承することを目的とする。また、館内で実演する。
7 機織り体験教室	
開催日	3月(10回)
開催場所	体験学習室, エントランスホール
募集人数	各回4名
講 師	資料館ボランティア
内 容	龍ヶ崎木綿への理解を促進し、技術伝承の一端を学ぶ。
8 簡単機織り教室	
開催日	8月
開催場所	エントランスホール
募集人数	各回10名
講 師	職員, 資料館ボランティア
内 容	細く裂いた不要の布を素材に小型の卓上機で「裂き織」を体験し、先人のリサイクル技法を伝える。
9 龍ヶ崎とんび凧教室	
開催日	12月
開催場所	体験学習室
募集人数	8名
講 師	龍ヶ崎とんび凧研究会
内 容	市民遺産に認定された「龍ヶ崎とんび凧」を復元制作し、その魅力と風化しつつある凧揚げの楽しさを伝承する。
10 お手玉作り教室	
開催日	2月
開催場所	体験学習室
募集人数	16名
講 師	資料館ボランティア
内 容	資料館で栽培した数珠玉を用いてお手玉を作り、お手玉遊び・数え唄等を伝承し、昔の遊びに触れる。

(4) 文化活動の推進及び支援

1 常陽小学生新聞『昔の道具とくらし』に寄稿 ※【県南版】土浦・牛久・つくば・取手・龍ヶ崎・守谷・つくばみらい 各市の公立小学校全児童に配布 【水戸版】水戸市の公立小学校全児童に配布	
内 容	当館が所蔵する昔の道具の写真と解説文を毎月寄稿し、子どもたちに歴史への関心を促すとともに、館のPRを図る。
2 資料閲覧及びレファレンス	
期 間	通年
場 所	図書研究室, 事務室
内 容	資料に対するレファレンスは、随時行う。また、市民グループの依頼により、展示解説

	や郷土史解説を開催して学習支援を行う。
3 学芸員実習生の受入	
期 間	1週間程度（8月）
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住，出身者及び近隣市町村在住者
内 容	各大学の依頼があり，次世代の学芸員を養成する目的で実習生の指導を行う。
4 ボランティア活動の推進及び支援	
期 間	通年
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住，出身者及び近隣市町村在住者
内 容	資料館や関連事業を市民や来館者に，より身近な生涯学習の場として，親しむことができる人材を育成し，ボランティアが参画する事業を推進する。
5 古い道具と昔のくらしの学習支援	
期 間	1月～2月
場 所	展示室，多目的室，エントランスホール
対 象 者	市内及び近隣小学校
内 容	小学3年生の社会科「古い道具と昔のくらし」の見学学習に合わせ，昔の道具の展示解説，ビデオ視聴，道具体験を提供し，学習内容に興味を深められるよう支援を行う。市内小学校は，見学予約が取りやすいよう，優先的な受付と，それに伴う市バスの手配を行う。

(5) 資料収集整理保存

1 資料の収集	
内 容	資料館の設立目的に沿った郷土史料・民俗資料の収集を行う。併せて，郷土史関係図書の充実を図るため自治体史，博物館発行図書の収集を行う。
2 資料の整理・保存	
内 容	市内旧家等から寄贈・寄託及び借用している古文書等の資料の整理分類を行い，郷土史の調査研究に活用するため目録作成を継続して行く。また，収蔵資料及び展示資料の虫害，菌害を防止するため，9月末に燻蒸業務を計画している。
3 市内の祭礼や年中行事の調査	
内 容	『龍ヶ崎市史 民俗編』（平成5年刊行）に掲載されている祭礼や年中行事の中で追跡調査が行われていない57件の祭礼を中心に聞き取り調査を進める。

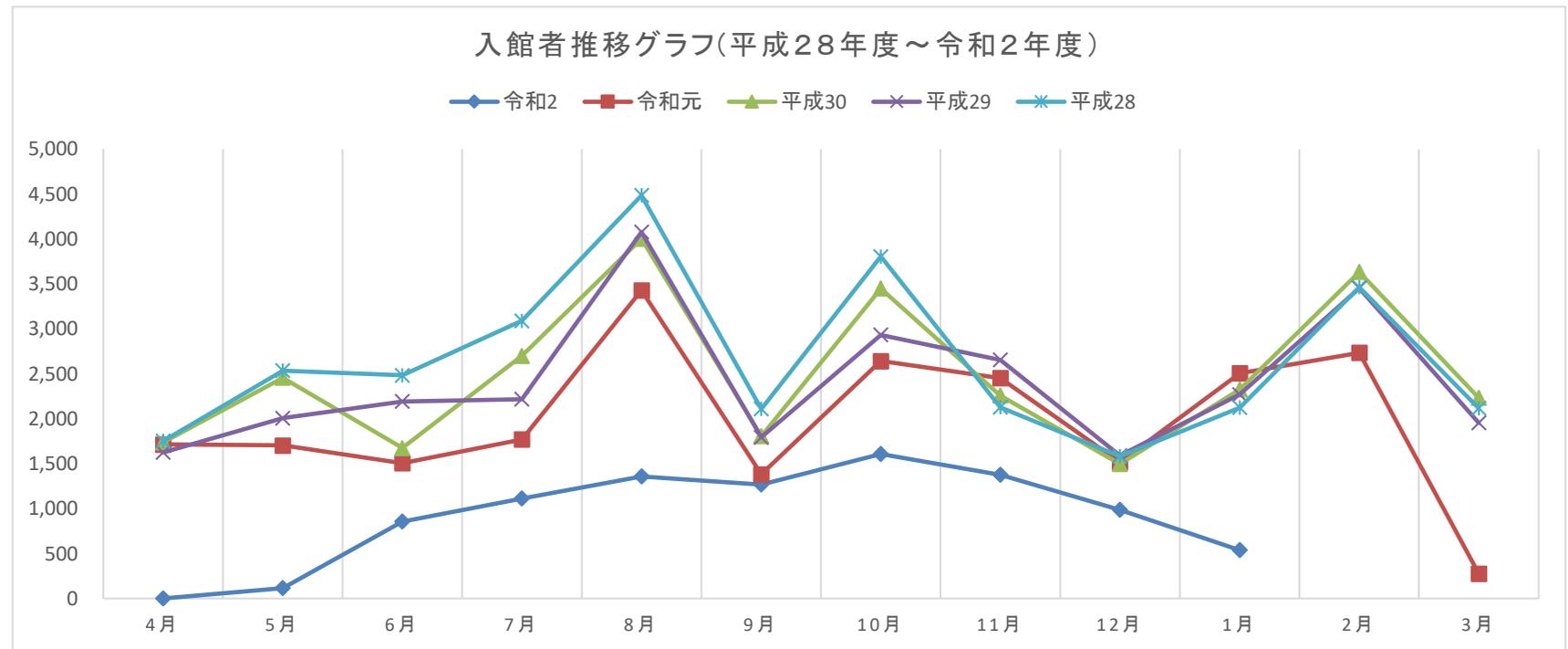
別添 1

龍ヶ崎市歴史民俗資料館入館者数(平成28年度～令和2年度)

令和3年:

年度\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	開館日数	月平均
R2	0	115	855	1,112	1,358	1,268	1,607	1,377	986	538			9,216	195	922
前年度差	△ 1,714	△ 1,588	△ 652	△ 658	△ 2,070	△ 113	△ 1,034	△ 1,076	△ 531	△ 1,968	△ 2,734	△ 276	△ 14,414	△ 85	△ 1,048
R1	1,714	1,703	1,507	1,770	3,428	1,381	2,641	2,453	1,517	2,506	2,734	276	23,630	280	1,969
H30	1,738	2,455	1,674	2,699	4,003	1,805	3,448	2,257	1,496	2,326	3,632	2,231	29,764	303	2,480
H29	1,624	2,006	2,193	2,218	4,077	1,793	2,932	2,654	1,590	2,269	3,452	1,953	28,761	308	2,397
H28	1,751	2,534	2,482	3,090	4,484	2,108	3,805	2,126	1,582	2,124	3,463	2,115	31,664	304	2,639
合計	6,827	8,813	8,711	10,889	17,350	8,355	14,433	10,867	7,171	9,763	13,281	6,575	123,035	1,390	2,051
平均	1,365	1,763	1,742	2,178	3,470	1,671	2,887	2,173	1,434	1,953	2,656	1,315	24,607	278	410

開館以来の延べ数	
入館者数	747,593
開館日数	9,046
日平均	83



2月7日現在

日平均
47
△ 37
84
98
93
104
89
89

合 計
9,216
23,630
29,764
28,761
31,664

○中期事業計画の進捗状況表

■文化・生涯学習課

No.	担当課	事業No.	事業名	事業概要	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
					事業内容(経過)	事業内容(経過)	事業内容	事業内容	事業内容
1	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		小学生向け郷土学習シートの作成(市の歴史的・文化的資源に対する児童・生徒の理解を促進させる事業)	主に郷土学習を行う小学3年生をターゲットとして、市内の名所旧跡を学ぶことのできる郷土学習シートを作成するほか、各所にスタンプを配置し、スタンプラリーができる環境を作ります。	—	現行の副読本「わたしたちの龍ヶ崎」を参考に学習シートを作成中。改訂版が次年度に発行されることから学習シートの内容を再確認する必要がある。	副読本の活用を促す郷土学習シートを作成、配布を開始する。スタンプの作成。	スタンプラリーの開催	スタンプラリーの開催
2	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		市内の祭礼・年中行事調査の悉皆調査【市長ブレイクダウン】	かつての市史編さん事業で調査された祭礼や年中行事の現況を調査し、記録保存に努め、それらを市民に向けて明らかにし、関心を高めていきます。	市史掲載の祭礼を中心に37件の確認を行い、うち2件は現地調査を行った。なお、平成23年から同30年までに30件分は調査済である。	7件の祭礼の聞き取り調査を行った。しかし、コロナ禍であり対面での聞き取り調査が難しく、祭礼自体も中止となっており、進捗していない。	市史掲載され、現況確認していない残りの57件の祭礼を中心に、追跡調査を順次行う。	調査結果に基づき、存続が確認された祭礼で特徴がある祭礼について現況を調査し、記録保存する。	調査結果を展示会や広報誌で紹介し、報告書などにまとめる。
3	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		文化財・市民遺産等案内ボランティアの育成	文化財や市民遺産等を解説し案内できる市民ボランティアを養成する。	—	NPO龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会などの市民団体と協働して文化財や市民遺産等を解説し案内できる人材を養成する。	NPO龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会などの市民団体と協働して、まち歩き(歩く歴史講座)を実施。	ボランティアによるまち歩き実施。	ボランティアによるまち歩き実施。
4	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		市史編さん事業で整理・保管されている古文書の解説と活用	市史編さん事業で整理・目録化がなされた古文書のうち、未解説のものを解説し、明らかになっていない歴史や民俗等を明らかにします。	—	横町伊勢屋文書「諸御用留帳」を古文書講座のテキストとして解説。古文書同好会に資料提供して、宮沢町豊崎家文書「御用留」の解説を進めている。	古文書の解説	古文書の解説、研究紀要の刊行	古文書の解説、研究紀要の刊行
5	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		埋蔵文化財収蔵庫の建設と考古資料の整理・活用	新たに埋蔵文化財収蔵庫を建設する計画を立てる。建設後は龍ヶ崎小学校敷地内収蔵庫で保管している考古資料を移転。継続的に資料の整理を進め、展示等に活用します。	—	学校給食センターの再利用を検討し、埋蔵文化財収蔵庫としての利用が可能であることから施設の再利用を申請。	学校給食センター再利用の調整。結果次第で改修工事の設計等を検討、又は新築工事等を見据えた設置場所等の検討を進める。	(前年度の検討を踏まえ)施設改修設計、又は新築設計	施設改修工事又は新築工事

6	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)		旧北文間小学校跡地活用に合わせて長興学校創設者顕彰等の展示計画の作成【市長ブレイクダウン】	旧北文間小学校跡地活用に合わせて、元校舎の1室を展示室とし、長興学校創設者の阿曾古登の事績等を紹介するコーナーを設ける。	展示資料の調査・整理 展示計画の策定	新資料、「飯塚古登へ褒章授与ノ件(国立公文書館蔵)」の調査。賞状や勲章の所在確認、借用交渉中。	旧北文間小学校跡地活用に合わせて、展示場所等を協議し、展示を行う。		
---	-----------------------	--	---	--	-----------------------	---	-----------------------------------	--	--

